



今宿小学校 学校だより

令和8年度 6月号 令和8年5月30日発行



校長 小野 公敬

ゴールデンウィーク明けから、学校は運動会へ向けて動きだしています。体育館での練習を経て、校庭での練習に取り組む子どもたちの姿に、少しずつ自信をつけている様子が見え、26日には、全校での練習も終え、本番へまた一歩近づきました。子どもたちの「頑張ろう」の気持ちを支えつつ、体調的にも気持ち的にも無理せず取り組んでいけるよう見守っていきます。当日に、全力を出し切れるよう、ご家庭での体調管理、そして励ましの声かけをよろしくお願いいたします。

ちょっと話題に

子どもたちの活動を安心、安全に支えるためにも
ちょっと立ち止まってあらためて話題に。

5月は、運動会練習の他にも、校外での活動や学校の外からお話に来てもらう活動が多い月でした。学校外で「見たもの」「体験したこと」が子どもたちの「すごい」「できた」「楽しい」といろんな感情と結びつき、「やる気」や「自信」につながっていくことを願って計画をしていますが、その活動を安心安全に支えるためにルールやきまりがあります。ちょっと堅苦しい言い方になりますが、ルールやきまりがあるということは、それを守っていれば、お互いが気持ちよく過ごせる、または防げた“けが”や“トラブル”があったからだと思うのです。子どもたちの活動がルールやきまりでがんじがらめとなってしまえば本末転倒ですが、ルールやきまりを守っているような活動が楽しく気持ちよく経験できることが、やる気や自信につながり、やがて子どもたちが社会に出たときに役に立つ力を育むことになると思っています。毎日の学校生活の中のきまり、登下校のときのきまり、放課後の過ごし方のきまり、遊びや習い事に行った先のきまりなどなど…。各クラスでは外に出る活動のときには必ずルールやきまりを確認しています。そのほかにも普段何気なく過ごしているその時間、その場所のきまりをいったん立ち止まってちょっと話題にしてみてください。

ルールやきまりに似たものにマナーというものもあります。学校のある場所の掲示板にも日常のなかの15のマナーが掲示してあります。たとえば…

マイナス言葉はとにかく使わない。プラス言葉をたくさん言おう。

人の話をすぐに「否定」しない。「ムリ」「できるわけない」という言葉をいきなり使わない

相手の顔を見てしっかり話を聴こう。うなづいて話を聴こう

大人でもいそがしさやくりかえしの毎日のなかで忘れてしまいがちなことです。ちょっと立ち止まって話題にしてみてください。

第1回 いじめ調査委員会で、各学年の子どもたちが抱える問題を共有しました。
友だちとの関わり方を模索している子どもたちです。失敗もあり、その中でお互いの思いを伝えあい、お互いが成長できるよう指導していきます。

第1回 学校運営協議会を開催しました。

一昨年設置した学校運営協議会。今年度は7名の新しいメンバーを迎え、スタートしました。学校教育目標等の承認をいただき、その後は、学校内、子どもたちの様子を見ていただきました。学年が上がるごとに集中力が上がる子どもたちの姿に、落ち着いて学習に取り組んでいますね、というお話もありました。今宿の宝である子どもたちを地域と家庭と学校で育てていきましょう。

令和8年度学校運営協議員 ○菊池 建治 様 (児童見守りボランティア) ○山本 和男 様 (今宿小学校区青少年育成推進協議会)
○貴島 義夫 様 (今宿自治会) ○中橋 康二 様 (萩園自治会) ○村井 厚 様 (プラザ今宿) ○久保田 昭二 様 (民生委員・児童委員)
○荒 名穂子 様 (鶴嶺公民館) ○近江 美江 様 (今宿小学校 手をつなぐ会 (学校)) ○稲田 安朗 ○林 武 ○島 万友美 ○小野 公敬